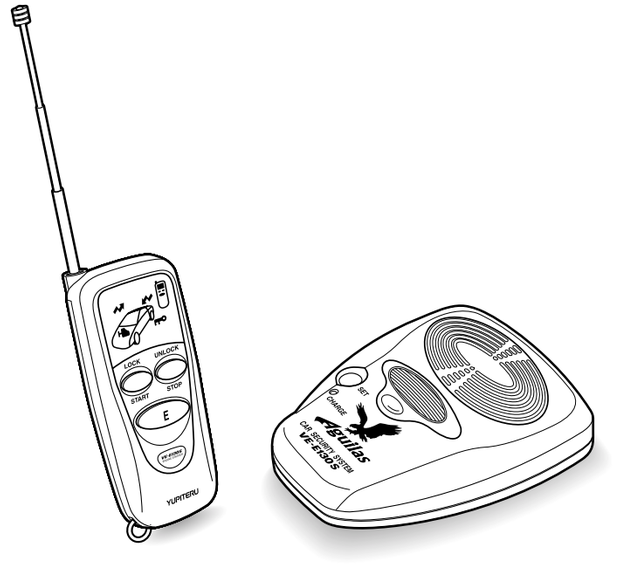
ユピテル工業株式会社
YUPITERU

“双方向”テレコントロールエンジンスターター＋カーセキュリティ

VE-E130S セキュリティ

取扱説明書 / 保証書



このたびは、ユピテルのテレコントロールエンジンスターターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。
また本機は、電波法第四条「技術基準適合証明を受けた無線局」および電波法施行規則第六条「特定小電力無線局」に該当するテレコントロールシステムおよび移動体検知センターです。

警告

取り付けには、専門知識が必要です。
取り付けは、お買い上げの販売店、またはカーディーラーにご依頼ください。
お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。

■取り付け可能な車
- 適応する車種別専用ハーネスの設定がある車
- オートマチック(AT)車
- キーの操作だけでエンジンを始動できる車
- 12V車で、㊀アースの車

※上記の4つの条件を満たす車以外ではお使いいただけません。

- マニュアル(MT)車・外国車には取り付けできません。

目 次

はじめに
- 主な特長 ---- 2
- 多彩なオプション ---- 4
- ご使用の前に(安全上のご注意) ---- 5
- セット内容 ---- 8
- 各部の名称 ---- 9
- 基本接続図 ---- 11
- 通信について ---- 12
- セキュリティユニットに付属の電池を装着する ---- 13

セキュリティ機能
- セキュリティユニットの設定 ---- 14
- セキュリティユニットの充電をする ---- 15
- ローバッテリーアラームについて ---- 15
- センサー感度の設定 ---- 16
- セキュリティを設定する ---- 17
- 監視中に異常を感知すると ---- 19
- セキュリティの一時解除と解除 ---- 19

エンジンスターター機能
- エンジンを始動させる ---- 20
- エンジンを停止させる ---- 21
- エンジンの状態を確認する ---- 22
- セキュリティの一時解除(キーレス機能を使う) ---- 23
- 車に乗車する ---- 25
- リモコンの電池を交換する(入れかた) ---- 26
- セル時間の設定 ---- 27
- アイドリング時間の設定 ---- 28
- グロー時間の設定 ---- 29
- エンジンスターターの設定 ---- 29
- バッテリー交換や本機の付け替え時の再設定について ---- 30
- スリープ機能について ---- 32
- 安全機能について ---- 32
- リモコンの追加 ---- 33

その他
- こんなときは ---- 34
- エラー音について ---- 36
- 仕様 ---- 37
- アフターサービスについて ---- 38
- 保証書 ---- 裏表紙

主な特長

■エンジンスターターでかける

最新の通信技術により、他の電波による影響を低減。確実な信号伝達により、電波到達距離(直線見通し)最大3000m を実現。離れた場所からエンジンを始動。快適なカーライフをサポートします。

- 電波到達距離市街地/住宅地(見通し)
  ……約300 ～1,000m
- 妨害電波の少ない河川道路(見通し)
  ……2,000 ～3,000m (当社測定)

※電波の届く距離は、地形・建物などの条件で変化します。

■接近感知・接近警告で守る

高性能マイクロ波センサーが愛車を監視。車輌への接近やウィンドウへの衝撃、ドア開、車内への侵入を感知して警告・警報。接近を感知すると警告音とハザードランプの点滅(3 回)で不審者を威嚇。さらに、車輌周辺でのうろつきやウインドウへの衝撃、車内侵入を感知したときはサイレン、またはボイスアラーム(ボイスアラームは日本語または英語を選択できます)とサイレンの組み合わせにより、効果的に警告・警報します。車上荒らしや盗難などの防犯効果に威力を発揮します。

- 状況により、光、サイレン、ボイスアラームが次のように組み合わされた警告・警報を行います。

[ボイスアラームの内容](ドア開や車内侵入を感知したときなど)

日本語	English
異常を検出しました。	Intruder detection.
解除してください。	Cancel the function.
警告します。	Warning.
すぐに退去しなさい。	Evacuate immediately.
不法侵入を通報します。	This is an invasion alert.
<ローバッテリー検出時> 電池の容量がありません。	Battery needs charging.

※ボイスアラーム、サイレンによる警告・警報中は数秒ごとに警告ランプが点滅します。
※車輌の前方向は、機構上、接近感知ができません。ウィンドウへの衝撃は感知できます。
※RV車やミニバンなどの大きな車輌では、接近を感知できない場合があります。

●不審者の接近やうろつき

- 車輌への接近を感知したとき
  ……警告音「ピッ」が鳴り、警告ランプが1回またはハザードランプが3回点滅します。さらに、異常感知が7秒間続くと、サイレンによる警報となります。(警告音キャンセル機能が設定されていると7秒間の異常感知があってもサイレンによる警報は行いません)
  車輌への接近をボイスアラームとサイレンによる警告・警報に選択することもできます。(ウィンドウへの衝撃感知時もボイスアラームとサイレンによる警告・警報となります)
  ※ 車輌の大きさ、周囲の環境によっては、接近感知時にもドア開/車内侵入の警告・警報に鳴る場合があります。
  ※ 警告ランプは感知した動体の大きさや移動速度によっては点滅しないことがあります。

●ウィンドウへの衝撃、破壊等

- ウィンドウへの衝撃を感知したとき(車上荒らしなど)…警告音「ピッ」が鳴り、警告ランプが1回またはハザードランプが3回点滅します。ボイスアラームとサイレンによる警告・警報を選択することもできます。(車輌への接近感知時もボイスアラームとサイレンによる警告・警報となります)
  ※ 警告ランプは感知した動体の大きさや移動速度によっては点滅しないことがあります。

●ドア開や不審者の車内侵入、車内での動き

- ドア開や車内侵入を感知したとき(車上荒らし、車輌盗難など)
  ……ボイスアラームとサイレンを組み合わせた効果的な警告・警報、またはサイレンによる警報(約60秒間)を選択できます。

一連の警告・警報終了後は、再度、監視モードとなり、連続して異常を感知している場合は、警告・警報を行います。

■アンサーバック機能

リモコンによる電波の送信・受信、エンジンの始動・停止、ドアのロック/アンロック(オプション対応)をリモコン、ハザードランプでアンサーバック。リモコンの各マーク(状態に応じて緑と赤の2 色に点滅・点灯)と音階ブザー、ハザードランプの点滅(3回)でお知らせします。

※セキュリティの異常感知をリモコンにアンサーバックする機能はありません。

●エンジン始動操作
……送信OK『ドレミファソ』、通信OK『ソファミレド』
……エンジン始動OK『ドレミファソファミレド』リモコンのエンジンマークが緑に点灯 ハザードランプが3回点滅

●キーレス操作(別売A-17SFの接続が必要です)
……送信OK『ドレミファソ』、指示OK『ソファミレド』
…… ドアロック時 リモコンのドアロック／アンロックマークが緑色に点灯 ハザードランプが1回点滅
…… ドアアンロック リモコンのドアロック／アンロックマークが赤色に点灯 ハザードランプが2回点滅

その他機能

■セル時間設定機能

車にあわせて、セルモータの始動時間を0.5秒、0.7秒、1.0秒、1.5秒、2.0秒、3.0秒、5.0秒(7 段階)の設定ができます。

■アイドリング時間設定機能

季節、気候にあわせてアイドリング時間を、10 ～30分の間で5分単位の設定ができます。

■グロー時間設定機能

ガソリン車、ディーゼル車を問わず、最適なエンジン始動を行えるように、グロー時間を2.0 秒、3.0秒、5.0秒、7.0秒、10.0秒(5段階)から設定できます。

※7.0秒、10.0秒選択時はオルタネータ線の接続が必要です。

■ターボタイマー機能

走行時間にあわせてアフターアイドリング(30秒～3分)を自動的に行うことができます。

■ハザード威嚇機能

セキュリティ監視中に接近を感知すると、警告音とハザードランプの点滅(3回)で威嚇します。

■3段階の感度設定機能

車の大きさや駐車環境に応じて、感度(感知エリア)を設定(3段階)できます。また、スーパーの駐車場など、人の出入りが多い駐車場で警告音を鳴らさない「警告音キャンセル機能」を搭載しました。

※警告音キャンセル機能を設定している場合、ドア開や車内侵入を感知したときなどには、ボイスアラームとサイレンまたはサイレンでの警報を行います。また、感度の設定状況や車輌の通過など、大きな動きを感知した場合は警告・警報を行う場合があります。

■エンジンキーのON/OFFに連動したセキュリティ(監視動作と警告・警報動作)の解除/設定。

車のエンジンを切ると約1秒後にスタンバイ時間となり、その後、一定時間(60秒またはオート)を経過すると、自動的に監視動作に入ります。またエンジンをかける(エンジンキーがACCまたはON)と自動的にセキュリティが解除されます。

※車に乗り込む際はエンジンスターターのリモコンでアンロック操作を行うと一時的にセキュリティが解除されますので、スタンバイ時間(60秒またはオート)内に車に乗り込みエンジンキーをACCにしてください。
※スタンバイ時間をオートに設定した場合は、連続して約10秒間に異常感知がないと監視動作に入ります。スタンバイ時間中は、ドアの開閉、乗り降り、荷物の積み降ろし(オートに設定の場合は、これらの動作を終了してから約10秒間)などがあっても警告・警報しません。

■走行中に自動充電し、1時間の充電で約1週間の連続監視が可能。

エンジンをかける(エンジンキーがACCまたはON)とセキュリティが解除され、電池の状態に応じて自動的に充電(初期充電または急速充電)されます。充電1時間で、約1週間の連続監視ができます。(監視中に警告・警報を2回行った場合を含む)

多彩なオプション

■キーレスエントリー
（別売のA-17SF：キーレスエントリーを接続した場合のみ）

本機リモコンでドアロック/アンロックができます。

※車種ごとにコントロールが異なるため、使用できない場合があります。また、別売のアダプターやドアロックハーネスが必要になる場合があります。
※本機リモコンによるアンロック操作でセキュリティの一時解除のみを行う場合には、キーレスエントリーは必要ありません。

■ドア検出
（別売のA-60を使用して、ドアスイッチに接続した場合のみ）

エンジンスターター動作中にドアを開くと、エンジンが停止します。(アフターアイドリング中は機能しません)
また、ドアが開いた状態でドアロック操作をした場合、リモコンの受信マークが赤く点滅し、『ピー』と鳴って、ドアが開いていることをお知らせします。

■コンライトキャンセル機能
（別売のA-60を使用して、コンライト信号線に接続した場合のみ）

オートライト機能搭載車での使用時に、オートライト設定中でもアイドリング終了後にライトを消灯させバッテリーあがりを防ぎます。

※一部の車輌において、コンライトキャンセル機能が正常に働かない場合があります。

■追加リモコン（別売：A-109E）

付属のリモコンのほかにもう一つリモコンを追加することができます。なお、付属のリモコンが紛失または破損してしまった場合も追加リモコンをご使用いただけます。

※追加リモコンの登録時に付属のリモコンも登録する必要があります。
付属のリモコンを登録しないと付属のリモコンはご使用になれません。

■無線イモビライザー
（別売のA-23SF：無線イモビライザーを接続した場合のみ）

本機リモコンでドアロック操作(別売 キーレスエントリーの接続がない場合でも、イモビライザー機能は動作します)をすると、約15秒後から、模造キーなどによる車輌盗難を防止するためにエンジンキーではエンジンの始動ができなくなります。
本機リモコンでドアアンロック操作をすると、無線イモビライザー機能は解除されます。
別売 キーレスエントリーを併用すると、本機リモコンでドアロック時にイモビライザー機能が働きます。

メモ

- 無線イモビライザー機能は、スリープ機能が働いた場合でも維持されます。
  ※スリープ機能が働いた状態（無線イモビライザーを取り付けている場合）からエンジンを始動するときはスリープ機能を解除（エンジンキーでドアを開け、エンジンキーをACCにする）した後、無線イモビライザー機能を解除（リモコン操作でドアアンロックにする）してください。
- イモビライザー機能設定中でも、エンジンスターターでエンジンを始動し、アイドリングをさせることができます。

■イモビ対応アダプター
（別売のイモビ対応アダプターを接続した場合のみ）

車輌純正のイモビライザー装着車に本機を取り付けるためのアダプターです。
本機取り付けにより、車輌のイモビライザー機能を損なうことはありません。

※エンジンスターターでの始動を除いて、車輌純正のイモビライザー機能は正常に動作します。

■オートキーレスシステム
（別売の弊社オートキーレスシステムを接続した場合のみ）

オートキーレスシステムのリモコンを所持しているだけで、“車に近づくとアンロック”、“車から離れるとロック”を自動で行う、一歩進んだキーレスエントリーです。

ご使用の前に（安全上のご注意）

次ページに続く

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

⚠警告： 警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う可能性があります。

⚠注意： 注意を無視した取り扱いをすると、使用者が傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

絵表示について

⚠ △ 記号は注意を促す内容であることを告げるものです。
⃠ ⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
● ● 記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

⚠警 告

- **シフトレバーは必ずパーキング(P)の位置で、パーキングブレーキをかけた状態で使用する**…思わぬ事故の原因になり大変危険です。
- **車の近くに燃えやすいものがある場所では、エンジンスターター機能を使用しない**…発火の恐れがあります。
- **車のボディカバーをかけたままエンジンスターター機能を使用しない**…発火や排気ガスによる中毒の恐れがあります。
- **お子様などを車に乗せたままでは、エンジンスターター機能を絶対に使用しない**…室内はキーでエンジンを始動した場合と同じ状態になり、大変危険です。
- **車内に人(特に子供)やペットがいるときには、セキュリティの監視設定をしない**…動きを感知し、警告･警報機能がはたらき、大音量を発生しますので、聴覚障害やストレスを与える恐れがあります。
- **リモコンはお子様の手の届かない場所に保管する**…お子様が勝手にエンジンを始動させてしまい、事故の原因となります。
- **換気の悪い車庫や屋内では、エンジンスターター機能を使用しない**…排気ガスによる中毒の恐れがあります。
- **マフラーが雪で覆われるような降雪時にはエンジンスターター機能を使用しない**…排気ガスが車内に充満して大変危険です。
- **必ずボンネットが閉まっている状態で使用する**…エンジン部の作業中にエンジンが始動すると、大変危険です。
- **暖気運転の直後にエンジン点検などを行わない**…火傷をする恐れがあります。エンジン停止後、少なくとも5分以上経過した後、十分注意して行ってください。
- **煙がでている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない**…発火の恐れがあります。すぐに使用を中止して、販売店に修理を依頼してください。
- **万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する**…そのまま使用すると火災や感電、事故の原因となります。
- **取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付ける**…誤った取り付けは、交通事故の原因となります。
- **エアバックの近くに取り付けたり、配線をしない**…万一のとき動作したエアバッグでセキュリティユニットなどが飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、セキュリティユニット接続コードが妨げとなり、エアバックが正常に動作しないことがあります。
- **運転中は絶対に操作しない**…わき見運転は重大事故の原因となります。また、設定は停車中に、パーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。
- **走行するときは、いったん本機でエンジンを停止させ、必ずキーで再始動する**
  本機でエンジンを始動させた状態では走行できません。
  エンジンが作動している状態でのキーの誤操作はセルの再飛び込みなど車を傷める危険があるばかりでなく、思わぬエンジンの停止や、ハンドルロック未解除のままの発進など、車の安全装置が働かないままで動き出すなどの事態をまねく危険性があります。
- **エンジンスターター始動中はシフトロック解除機能等による通常の運行操作以外でシフト操作をしない**…エンジンスターターの安全機能が働かず、思わぬ事故につながる場合があります。

公道上で、エンジンをかけたまま車を放置することは、道路交通法違反となります。
必ず私有地で使用してください。

本機を取り付けたことによる、車輌や車載品の故障、事故等の付随的障害にについては、一切その責任を負いません。

⚠警告

バッテリーに直接接続しない…火災や感電、故障の原因となります。本機はエンジンキーと連動して車側の電源がOFFにならないと、設定できません。

エンジンスターター機能を車輌の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用する

むやみに操作ボタンを押さない…リモコンの電波は周辺環境により、思わぬ遠方まで届く場合があります

コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、コードが傷んだら使用しない…感電やショートによる発火の原因となります。

セキュリティユニット接続プラグは確実に差し込む…接触不良を起こして火災の原因となります。また、接触不良を起こしていると、正しく動作しません。

水をつけたり、水をかけない。また、ぬれた手で操作しない…火災や感電、故障の原因となります。

穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。

サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

機器本体および付属品を改造しない…火災や感電、故障の原因となります。

指定電池以外は使用しない…セキュリティユニット用電池は本機専用です。安全のため、専用電池以外は使用しないでください。

思わぬ事故を防ぐために、次のような場合は、リモコンの電池を抜いておく、もしくはアンテナユニットの接続ケーブルをジャンクションユニットから外してください。

- ボンネットを開けるとき
- 整備や車検などで車を第三者に預けるとき
- 本機の使用方法を理解されていないかたが運転するとき
- 長期間、車を使用しないとき
- 万一、リモコンを紛失したとき

あらかじめ駐車時には以下のことを守る

- ワイパー、ラジオ(オートアンテナ車の場合)を切ってください。エンジン始動を行ったときに動きだすので危険です。
  また凍結した場合、モーターが損傷する恐れがあります。
- 全ての窓を閉めてください。
- 全てのドアを施錠(ロック状態)してください。
- 坂道や傾斜地でご使用になるときや、冬期でパーキングブレーキを解除して使用するときは、必ず輪止めをしてください。

注意

取り付けは確実に行う…落ちたりして、ケガの原因となります。

セキュリティユニット接続プラグを抜くときは、セキュリティユニット接続コードを引っ張らない…コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずセキュリティユニット接続プラグを持って抜いてください。

お手入れの際は、セキュリティユニット接続プラグを抜く…感電の原因となります。

ご注意 電波法に関して

■リモコン、アンテナユニット、セキュリティユニットの技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。

■海外では使用しないでください。

■分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

ご注意 エンジンスターターの機能について

■コンライトキャンセル機能を配線していない場合

オートライトコントロールシステムやコンライトシステム搭載車※で、夜間に本機を使用するときは、ライトスイッチを「OFF」にしておいてください。「AUTO」の状態で本機によりエンジン始動をした場合、ライトが点灯して、エンジンが停止したあとも消灯しません。

※暗くなると自動的にライトが点灯するシステム。エンジンが停止したあと、降車のためにドアを開閉することでライトが消灯します。

■他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を与えたり、受けたりすることがあります。

- カーナビゲーションや、ラジオ、オーディオなどを搭載した車では、バッテリーのマイナス端子をはずすと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子をはずす前に、必ずメモリー内容を控えてください。
- 市販のターボタイマーと併用することはできません。
- オートクルーズシステム搭載車や電動チルトステアリング・マイコンプリセットのドライビングポジションシステム装備車では、まれにこれらの機能が正常に動作しなくなることがあります。
- ワイヤレスドアロックシステムやキーレスエントリーシステム装備車では、エンジンが始動しているときドアのロック/アンロックができないことがあります。このようなときは、キーで操作してください。
- ターボタイマー機能は、ご使用になる車輌により、まれに正常に働かないことがあります。
- イグニッションキースイッチのバラツキが大きく、エンジンスターターで始動したときセルがホールドする車輌では使用できません。

ご注意 セキュリティユニットの機能について

■付属のニッケル水素電池装着後、使用前に車のエンジンをかけて(エンジンキーがACCまたはON)1時間以上充電してください。

■強い雨や雪、雹(ヒョウ)などを感知して警報する場合があります。

■ウィンドウに雪が積もっていると、接近を感知できにくい場合やできないことがあります。

■ガソリンの給油などエンジンを切って車内に待機する際は、スタンバイ時間中にSETボタンを押して、セキュリティを解除してください。

■車輌の窓ガラスにウィンドウフィルムが貼ってある場合、そのフィルムの材質によっては、接近感知ができなくなったり、感度が低下する場合があります。

本機は、センサーにより異常を感知し、警告・警報を発する防犯装置で、イタズラ、盗難を完全に防止できるものではありません。
また、本機の動作の有無にかかわらず発生した盗難事故、イタズラなどによる損害、被害に対しての責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

日頃から防犯をお心がけください

1. エンジンキーを付けたままの状態で車から離れない。
2. 車から離れるときは、すべてのドアがロックされていることを、必ず確認する。
3. 駐車中は、すべてのウィンドウを完全に閉める。
4. 車内に貴重品を置かない。貴重品でなくとも、目につく物はできる限り置かない。
5. 駐車するときは、できるだけ「明るい」、「人通りのある」場所を選ぶ。

ご注意 取り扱いについて

■リモコンを持ち歩くときには、落下などの衝撃を与えないでください。

■リモコンは簡易防滴構造ですが、濡れた手でさわったり、雨水などで濡れたりしないようにしてください。

■リモコンは、お子様の手の届かない場所に保管してください。

■リモコンを次のような場所に放置しないでください。

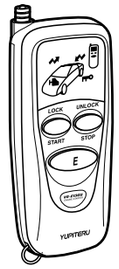
- 暖房器具の近くやダッシュボードの上など、温度の高くなる場所。
- 湿度の高い場所や、風通しの悪い場所。
- ホコリや油煙の多い場所。
- 非常に温度の低い場所。

■リモコンのアンテナに強い力がかかるような取り扱いはしないでください。

■リモコンが汚れたときは、柔らかい布でふいてください。ポリエステルなど静電気の起きやすいもの、またベンジンやシンナー、化学ぞうきん、洗剤は使用しないでください。

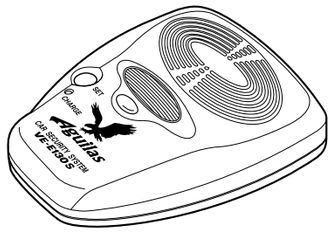
セット内容

接続前に、セットの内容をお確かめください。

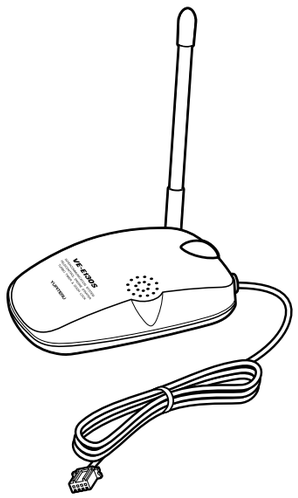


※リモコン用電池
CR2032(2)は
内蔵されています。

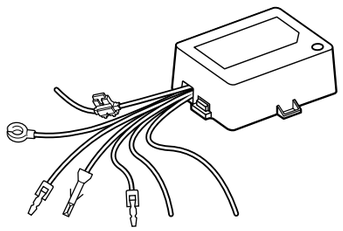
●リモコン(1)



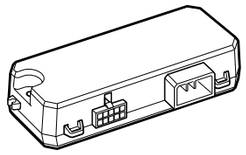
●セキュリティユニット（1）



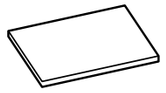
●アンテナユニット（1）



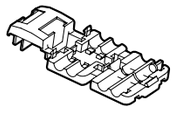
●セキュリティアダプター（1）



●ジャンクションユニット（1）

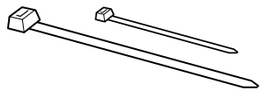


●マジックテープ（1）

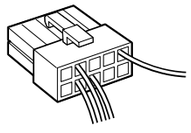


●エレクトロタップ（2）

●コードクリップ（2）



●タイラップ（大2、小1）



●センサーハーネス（1）

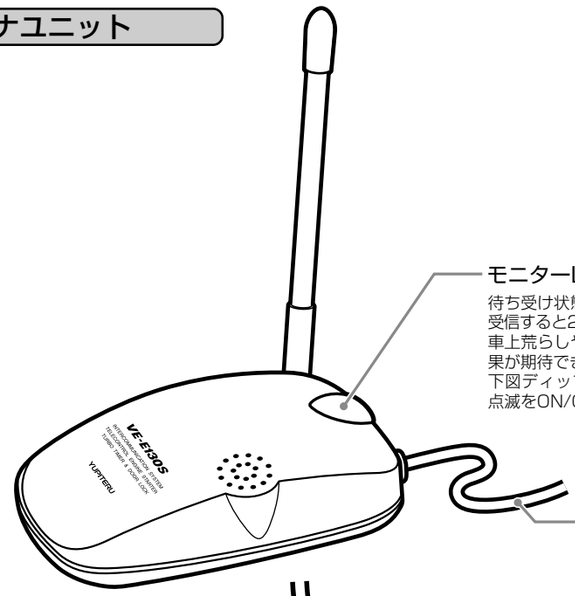
●ご注意ステッカーシート(1)

●サンバイザークリップ（1）
●コードクリップセット（1）
●マジックテープ（1）
●ワーニングステッカー（1）
●ニッケル水素電池（1）
●取扱説明書・保証書（1）
●取付・接続説明書(1)

各部の名称

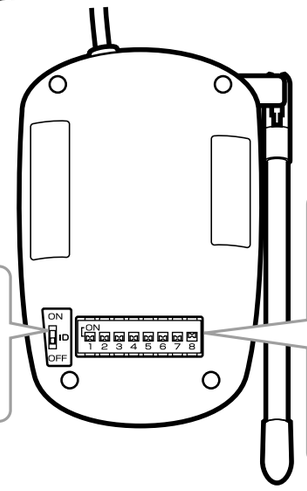
次ページに続く

アンテナユニット



モニターLED
待ち受け状態で点滅、リモコンからの電波を受信すると2秒間点灯し、点滅に変わります。車上荒らしやいたずらなどに対して、威嚇効果が期待できます。
下図ディップスイッチNo.8で待ち受け中の点滅をON/OFFできます。(威嚇機能)

接続ケーブル
ケーブル長　2.5m

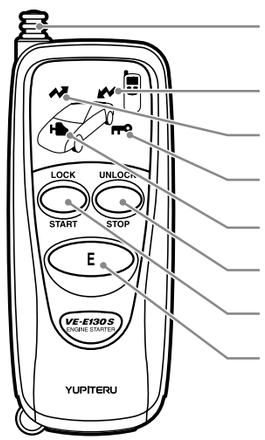


スライドスイッチ
リモコン追加時のID登録用。

ディップスイッチ

No.	スイッチ機能	工場出荷時
1	セル時間、アイドリング時間、	OFF
2	グロー時間設定	OFF
3	ターボタイマー設定	OFF
4	エンジン始動判定設定	OFF
5		OFF
6	未使用	OFF
7		OFF
8	威嚇機能設定	ON

リモコン



アンテナ
送信マーク
受信マーク
ドアロック/アンロックマーク
エンジンマーク
STOP/UNLOCKボタン
START/LOCKボタン
E(エンジン)ボタン

各部の名称

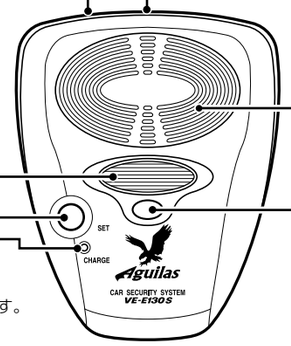
セキュリティユニット

拡張ユニット接続端子
何も接続しません。
※今後、拡張ユニットが用意された場合にご使用いただく端子で、現状では何も接続しません。

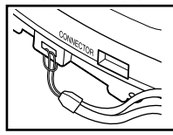
警告ランプ（高輝度クリプトンランプ）
警告・警報中に点滅します。

SETボタン[SET]
警告音キャンセル機能、監視解除、スタンバイ時間の設定を行います。

バッテリーインジケーター[CHARGE]
（高輝度LED:緑色）
充電中は点灯します。
ローバッテリーを検出すると、約10秒間点滅します。



ストラップ取付け穴

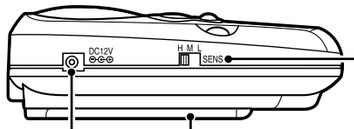


市販のストラップなどを取り付けてサンバイザーアームに結び付けることができます。

サイレン
警告・警報音を出力します。
110dB/15cm

スピーカー
ビープ音、ボイスアラームを出力します。
ボイスアラーム 70dB/15cm以上

みはりインジケーター（高輝度LED:赤色）
車のエンジンキーがOFFになった後、監視状態に入るまでは早い点滅をします。
監視状態では遅い点滅になり、盗難やイタズラを未然に防止します。



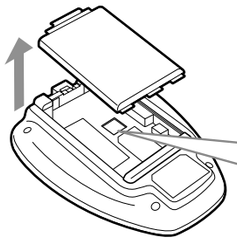
感度切替スイッチ[SENS]
センサー感度を3段階に切り替えます。

バッテリーカバー内

ディップスイッチ
警報モード、ボイスアラームの日本語・英語を選択できます。

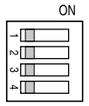
電池収納部
付属のニッケル水素電池を装着します。

DC12Vジャック[DC12V]
セキュリティユニット接続コードから電源を供給し、装着したニッケル水素電池への充電を行います。また、エンジンキーOFFを検出したときには、約1秒後にスタンバイ時間となり、その後、一定時間後に自動的に監視状態になります。



※工場出荷時全てOFF側

		OFF	ON
1	ドア開検出	音声+サイレン	サイレン
2	車外検出	警告音	音声+サイレン
3	音声切替	日本語	英語
4	未使用		



基本接続図

●リモコン（1）

●アンテナユニット（1）

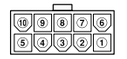
●接続ケーブル（2.5m）

コネクター3

●ジャンクションユニット（1）

コネクター2の接続ポイント

1端子	ドア開検出	
2端子	イモビA	（灰/黒）
3端子	オルタネータ	（白）
4端子	ドアアンロック出力	（黄/黒）
5端子	コンライトキャンセル	
6端子	ブレーキ検出	（茶）
7端子	イモビB	（白/黒）
8端子	オートキーレス	（紫）
9端子	ドアロック出力	（青/黒）
10端子	ハザード制御	（緑）



コネクター2　コネクター1

●センサーハーネス（1）
※必ずP・ポジション自動検出機能の確認を行ってから接続してください。

●セキュリティユニット（1）

●セキュリティユニット接続コード（白・黒線 3m）
セキュリティユニットに接続

●セキュリティアダプター

●ハザード制御線
センサーハーネス⑩ピンに接続　緑線

●コンライト出力線（別売：A-60）
車のコンライト信号線に接続

●キーレスエントリー（別売：A-17SF）
ドアロック出力線（青/黒線）
車のドア制御信号線に接続（ロック側）
アンロック出力線（黄/黒線）

●キーレスエントリー接続コネクター
青/黒線
黄/黒線

●オルタネータ線　白線
車のオルタネータL端子ケーブルに接続

●エンジンスターター接続線　紫線
別売 オートキーレスシステムと接続

●イモビ対応アダプター（別売）　灰/黒線
白/黒線

●ブレーキ検出線※1　茶線
※1 P・ポジション自動検出ができない場合のみ配線します。
車のフットブレーキスイッチまたはP・ポジションインジケーターランプに接続します。

●ドア検出線（別売：A-60）
車のドア信号線に接続

●アース線

●車種別専用ハーネス（別売）

信号線(黄/黒)
接続の必要はありません

ハザードランプのプラス側に接続
(緑／赤)

ハザードランプのプラス側に接続
(緑／黒)

アース線(黒)
車の塗装されていない既存のビスなどに接続

常時電源（赤）
車のキーを抜いた状態でも通電している（常時＋12V）線に接続
※オーディオ用＋B電源または一部の車種別専用ハーネスギボシ付き赤線と接続できます。

アクセサリー電源(青)
車のキーと連動してON/OFF する電源線に接続
※オーディオ用ACC 電源または一部の車種別専用ハーネスではギボシ付き青線と接続できます。

車のシリンダー側コネクターへ

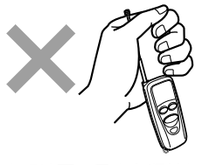
車側コネクターへ

通信について

リモコンの上手な使いかた

リモコンを操作するときは、安定した通信距離を確保するために、次のことを守ってください。

■リモコンのアンテナを手で覆わないでください。
※通信距離が短くなります。



■アンサーバック信号を受信するまではアンテナを収納しないでください。
アンテナを収納すると、正常にアンサーバック信号を受信できません。
■リモコンのアンテナは完全に引き出し、垂直に立てて操作してください。
※斜めにして操作すると、通信距離が短くなることがあります。
※チェーンやカギ、金属性アクセサリーなどにより通信エラーを発生する場合があります。

アンテナユニットの取り付け

アンテナユニットは、ダッシュボードに、付属のマジックテープを使用して、運転者の視界を妨げないように取り付けてください。

ご注意

アンテナの近くに金属(ピラー)などがあると、通信距離が短くなります。
金属部より5cm以上離れた場所に取り付けてください。

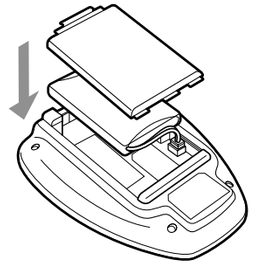
メモ

通信距離を広げたい場合は、アンテナユニットのアンテナを地面に対してできるだけ垂直に立ててください。(アンテナが車体に触れないようにしてください)また、アンテナとリモコンの間に障害物ができるだけ少なくなるような方向に車を停車してください。

セキュリティユニットに付属の電池を装着する

はじめてご使用になるときは、付属のニッケル水素電池を装着後、1時間以上充電してください。また、電池を装着する際はセキュリティユニット接続コードをはずした状態で電池を装着してください。セキュリティユニット接続コードが接続された状態で電池を装着すると、音声アラームが鳴りません。
※充電中はセキュリティユニットバッテリーカバー付近が熱くなりますが、故障ではありません。

1 バッテリーカバーを開け、電池のコネクターを、ケース内のジャックに差し込み、電池を収納する



2 コードを挟まないように注意して、バッテリーカバー閉める

- セキュリティユニットは、専用のニッケル水素電池を使用しています。安全のため、専用電池以外は使用できません。新しい電池と交換するときは、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所、サービス部にご相談ください。
- 電池には寿命があります。十分な充電ができなくなったら、新しいものと交換してください。(使用状況にもよりますが、約3~5年を目安にしてください)

セキュリティユニットの設定

セキュリティユニットバッテリーカバー内のディップスイッチで、警報モード、ボイスアラームの日本語、英語の切り替えができます。

		OFF	ON
1	ドア開検出	音声+サイレン	サイレン
2	車外検出	警告音	音声+サイレン
3	音声切替	日本語	英語
4	未使用		

ドア開検出の警報設定

ドア開検出をサイレン側に切り替えると、ドアが開けられた場合、サイレンのみで警報します。

1 バッテリーカバーを開け、電池を取り出す

2 バッテリーケース内のディップスイッチNo.1(ドア開検出)をボールペンの先などで切り替える

音声+サイレン ⟷ サイレン
サイレン側に切り替えると、ドア開時にサイレンのみで警報します。
※自分が乗車する際にもサイレンが鳴ります。

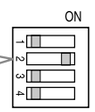
※ ドア開検出をサイレンに設定していても、車外検出を音声+サイレンに設定すると、異常感知時のすべての警告・警報は音声+サイレンになります。

車外検出の警報設定

車外検出を音声+サイレンに切り替えると、車輌への接近やウィンドウへの衝撃に対してボイスアラームとサイレンによる警告・警報を行います。
※ 車輌への接近とウィンドウへの衝撃感知時の警報は個別に設定できません。

1 バッテリーケース内のディップスイッチNo.2(車外検出)をボールペンの先などで切り替える

警告音 ⟷ 音声+サイレン
音声+サイレン側に切り替えると、車輌に近づく程度でボイスアラームとサイレンによる警告・警報を行います。

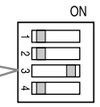


ボイスアラームの音声切替

ボイスアラームを英語にすることができます。

1 バッテリーケース内のディップスイッチNo.3(音声切替)をボールペンの先などで切り替える

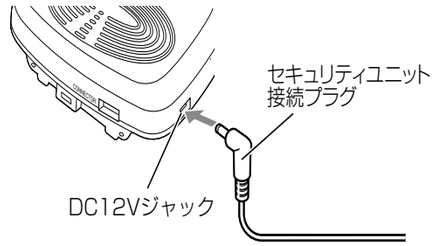
日本語 ⟷ 英語
英語側に切り替えると、ボイスアラームが英語になります。



2 コードを挟まないように注意して、バッテリーカバーを閉める

セキュリティユニットの充電をする

1 セキュリティユニット接続プラグをセキュリティユニットのDC12Vジャックに差し込む



※セキュリティユニット接続プラグは確実に接続してください。接触不良があると、走行中に警告・警報を発することがあります。

2 車のエンジンをかけて、充電する

エンジンをかける(エンジンキーがACCまたはON)と、バッテリーインジケーターが点灯します。

*充電時間の目安
…電池の状態に応じて初期充電または急速充電を行い、1～2時間でフル充電されます。(1時間の充電により約1週間の連続監視(一連の警告・警報×2回を含む)ができます)
…急速充電中は充電電流が大きくなり、本機バッテリーケース付近が熱くなりますが故障ではありません。

ローバッテリーアラームについて

電池の容量が低下したときには、バッテリーインジケーターが点滅(約10秒間)してアラーム音(『ピピピッ、ピピピッ、ピピピッ』)が鳴ってから、ボイスアラーム(日本語『電池の容量がありません』または英語『Ｂａｔｔｅｒｙ　ｎｅｅｄｓ charging』)で知らせます。

- 電池が完全に消耗したときには、バッテリーインジケーターやボイスアラームが動作しません。また、エンジンをかけた(エンジンキーをACCまたはON)ときにローバッテリーアラームが鳴るのは充電不足です。このような場合には、使用する前に、1時間以上充電してください。
- 電池には寿命があります。充電が十分できなくなったら、新しいものと交換してください。(使用状況にもよりますが、約3～5年を目安にしてください)
  交換については、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

セキュリティ機能

センサー感度の設定

感度切替スイッチを切り替えて、車の大きさや駐車環境にあわせてセンサー感度(検出エリア)を設定します。また、本機取付場所(サンバイザー、ダッシュボード)によってもセンサー感度が変わることがあります。
※ミニバンやRV車などの大きな車輌では、下記3段階感度設定の動作イメージとは異なる場合や、接近を感知できない場合があります。

3段階感度設定【動作イメージ】

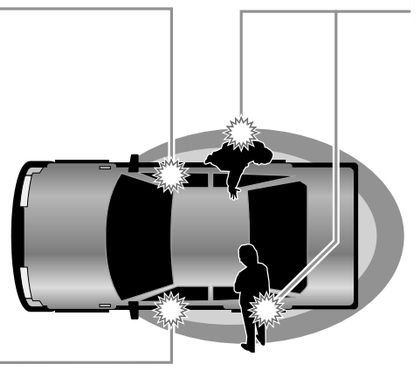
M…ウィンドウ付近

▶ウィンドウへの衝撃、破壊等

●ウィンドウへの衝撃を感知したとき(車上荒らしなど)…

警告音「ピッ」が鳴り、警告ランプ(1回)またはハザードランプ(3回)が点滅します。
ボイスアラームとサイレンによる警告・警報を選択することもできます。(車輌への接近感知時もボイスアラームとサイレンによる警告・警報となります)

※警告ランプは感知した動体の大きさや移動速度によっては点滅しないことがあります。



L…車内

▶ドア開や不審者の車内侵入、車内での動き

●ドアが開くのを感知したとき(車上荒らし、車輌盗難など)…

ボイスアラームとサイレンを組み合わせた効果的な警告・警報、または サイレンによる警報(約60秒間)を選択できます。

※車輌の大きさや周囲の環境により、上記動作イメージとは異なる場合があります。
※ボイスアラーム、サイレンによる警告・警報中は数秒ごとに警告ランプが点滅します。
※車輌の前方向は、機構上、接近感知ができません。ウィンドウへの衝撃は感知できます。

H…車の周囲

▶不審者の接近やうろつき

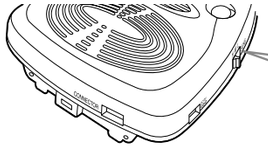
※RV車やミニバンなどの大きな車輌では、接近を感知できない場合があります。

●車輌への接近を感知したとき…

警告音「ピッ」が鳴り、警告ランプ(1回)またはハザードランプ(3回)が点滅します。さらに、異常感知が7秒間続くと、サイレンによる警報となります。(警告音キャンセル機能が設定されていると7秒間の異常感知があってもサイレンによる警報は行いません)
車輌への接近をボイスアラームとサイレンによる警告・警報に選択することもできます。(ウィンドウへの衝撃感知時もボイスアラームとサイレンによる警告・警報となります)

※警告ランプは感知した動体の大きさや移動速度によっては点滅しないことがあります。

▶風や道路振動によるわずかな揺れ
▶周囲の騒音
●警告・警報しません



●感度設定の目安

高感度(H)
車輌周辺の動体に対して、警告・警報をしたいとき

通常感度(M)
サイド・リアウィンドウ付近の動体に対して、警告・警報をしたいとき

低感度(L)
ドア開や車内侵入に対してのみ警告・警報をしたいとき

上記目安を参考に実際の動作を確認のうえ、感度設定を行ってください。
Mに設定している場合でも、接近感知をする場合や、H設定でも接近感知ができないことがあります。このような場合は、感度切替スイッチの設定を変更するか、本機の取付場所を変更して、車輌の大きさや周囲の環境に合わせた設定を行ってください。

セキュリティを設定する

次ページに続く

1 すべてのウィンドウを、完全に閉める

2 エンジンを切り、降車してドアを閉める

エンジンを切り(エンジンキーをOFFにする)、監視モードに入るまでに車から出て、ドアを閉めてください。

スタンバイ時間について

本機は、エンジンキーをOFFにすると約1秒後にビープ音が鳴り、スタンバイ時間となります。その後、一定時間(60秒またはオート※)を経過すると、監視モードになります。

※スタンバイ時間は、セキュリティ上60秒(工場出荷時)の設定をおすすめします。

エンジンキー ONまたはACC	エンジンキーOFF	
	約1秒 スタンバイ時間	監視モード
ここでSETボタンを押すと、スタンバイ時間を変更できます。	ここでSETボタンを2回押すと、監視動作を解除(セキュリティOFF)できます。	監視モードで監視動作を解除するときは、エンジンをかけます。
ACC ON	ACC OFFから 1秒間経過後	60秒またはオート時間経過後
SETボタンを押す (スタンバイ時間設定) 60秒設定 『ピッ』 ↓↑ オート設定 『ピピッ』	通常監視準備 設定された警報モードでの監視を行います。通常エンジンキーをOFFにすると、このモードに入ります。	SETボタンでの設定・解除変更は出来ません。
	SETボタンを1回押す 警告音キャンセル機能が設定されます。 『ピピピッ』 ↓	
	SETボタンをもう一度押す セキュリティの設定が解除されます。 『ピピッ』 もう一度SETボタンを押すと、通常監視準備に戻ります。	

- エンジンキーOFF後、監視モードに入らないようにするときは、スタンバイ時間中にセキュリティユニット接続コードをはずし、SETボタンを2回押してください。
- 監視モード中には、SETボタンを押しても監視モードを解除できません。

スタンバイ時間の変更について

スタンバイ時間を変更するときは、エンジンキーがONまたはACCのときにSETボタンを押してください。

- スタンバイ時間は、SETボタンを押すたびに、図のように設定され、設定時間をビープ音でお知らせします。

監視モードについて

監視モードになると、みはりインジケーターが早い点滅から遅い点滅に変わります。監視中に車輌周辺の動体を感知した場合やドアが開いたときは、警告ランプが点滅し、ボイスアラームとサイレン(またはサイレンのみ)で警告・警報します。

エンジンキーの位置	ACCまたはON	OFF	
		動作中	
セキュリティの動作	動作解除	スタンバイ時間	監視モード (スタンバイ時間経過後)
バッテリーインジケーター	点灯 (充電モード)	消灯	消灯
みはりインジケーター	消灯	早い点滅 (0.6秒間隔)	遅い点滅 (5秒間隔)

警告音キャンセル機能について

エンジンキーをOFF後、スタンバイ時間中にSETボタンを1回押すと『ピピピッ』と鳴り、警告音キャンセル機能に設定されます。再度SETボタンを押すと監視動作を解除します。
警告音キャンセル機能中は、車輌の周囲を人が歩く程度(通常の監視モードで『ピッ』と鳴る程度の異常)では、警告音を発しません。ドア開や車内侵入などの大きな異常では通常の警告・警報をしますので、スーパーの駐車場など、人の出入りが多い場所に駐車するときなどにご利用ください。警告音キャンセル機能は、ACC ONで解除されます。

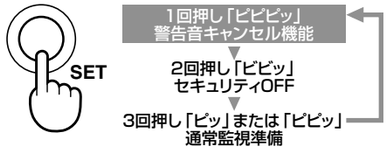
※警告音キャンセル機能中でもハザードランプは3回点滅します。
※警告音キャンセル機能を設定している場合でも、感度の設定や車輌の通過など大きな動きを感知した場合は、警告・警報を行う場合があります。

セキュリティを設定する

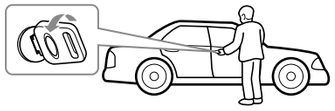
警告音キャンセル機能をご使用になる場合

① エンジンキーを OFF にする。

②1 秒後(スタンバイ時間中)にセキュリティユニットの SET ボタンを押す。



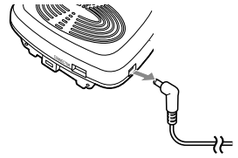
③ エンジンキーを使ってドアをロックする。



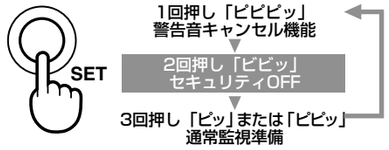
※ キーレスまたは本機リモコンを使用してドアをロックすると、セキュリティが一時解除され、警告音キャンセル機能が設定されません。
※ 警告音キャンセル機能を設定している場合でも、ハザード威嚇機能は働きます。

セキュリティを設定したくない場合

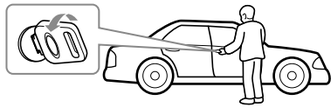
① セキュリティユニット接続コードをはずす。



②1 秒後(スタンバイ時間中)にセキュリティユニットの SET ボタンを２回押す。



③ 車から降りてキーレスまたはエンジンキーでドアをロックする。



監視中に異常を感知すると

監視中に異常を感知したときには、次のような警告・警報を発します。

車輌への接近を感知したとき

車外検出を警告音に設定している場合	
警告音が『ピッ』と鳴り、警告ランプが1回点滅またはハザードランプが3回点滅します。さらに、異常感知が7秒間続くと、サイレンによる警報となります。(警告音キャンセル機能が設定されていると、7秒間の異常感知があってもサイレンによる警報は行いません) ※警告ランプは、感知した動体の大きさや移動速度によっては点滅しないことがあります。	
車外検出を音声+サイレンに設定している場合	
ボイスアラーム	『ピッピッピッピッ……(10回)』 『異常を検出しました。解除してください』 『異常を検出しました。解除してください』 『ピッピッピッ……ピッ[サイレン]、警告します。警告します』 『すぐに退去しなさい。不法侵入を通報します』
警報	『キュイーン、キュイーン……キュイーン[サイレン]』(7回繰り返す)
ボイスアラーム	『すぐに退去しなさい。不法侵入を通報します』
※警告・警報中は、警告ランプが数秒間隔で点滅します。約60秒の警告・警報動作後、監視状態に戻ります。(ウィンドウへの衝撃感知時もボイスアラームとサイレンによる警告・警報となります)	

※ボイスアラームはサイレンに比べ、音量が小さくなっています。

ドア開や車内侵入を感知したとき

(ドア開検出を音声+サイレンに設定しているときの日本語での警告･警報)
※車内での動きを感知した場合や、車輌周辺での大きな動きを感知した場合にも以下のような警告・警報となります。

ボイスアラーム	『ピッピッピッピッ……(10回)』 『異常を検出しました。解除してください』 『異常を検出しました。解除してください』 『ピッピッピッ……ピッ[サイレン]、警告します。警告します』 『すぐに退去しなさい。不法侵入を通報します』
警報	『キュイーン、キュイーン……キュイーン[サイレン]』(7回繰り返す)
ボイスアラーム	『すぐに退去しなさい。不法侵入を通報します』

ドア開や車内侵入を感知すると警告音『ピッピッピッピッ……(10回)』が鳴り、ボイスアラームとサイレンによる警告・警報を行います。警告・警報中は、警告ランプが数秒間隔で点滅します。約60秒間の警告・警報後、監視モードに戻りますので、万一車内侵入された場合でも、不審者の車内での動きを感知し、警告・警報を繰り返します。

※ボイスアラームはサイレンに比べ、音量が小さくなっています。

(ドア開検出をサイレンに設定しているときの警報)
ドア開検出をサイレンに設定しているときは、サイレンによる警報のみを60秒間行います。警告・警報中は、警告ランプが数秒間隔で点滅します。警報後は監視モードに戻りますので、万一車内侵入された場合でも、不審者の車内での動きを感知し、警報を繰り返します。

※車外検出を音声+サイレンに設定していると、異常感知時のすべての警告・警報は音声+サイレンになります。

- 強い雨や雪、雹(ヒョウ)などを感知して警報する場合があります。
- 接近を感知した後、ドアが開けられた場合などでは、先に感知した警告･警報途中であっても、ドア開や車内侵入などの大きな異常を優先します。

セキュリティの一時解除と解除

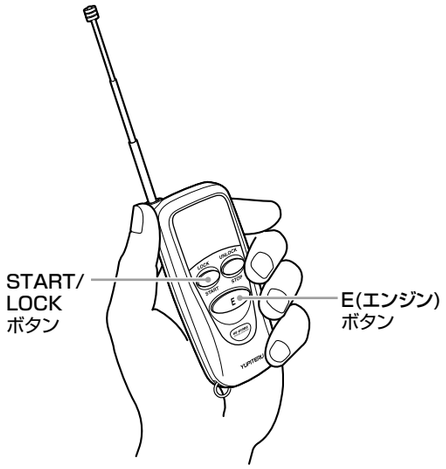
本機リモコンでロックまたはアンロック操作をするとセキュリティユニットに約1秒間電源が供給されその後1秒経過するとスタンバイモードになります。(一時解除)スタンバイ時間(60秒またはオート)を経過すると再度、監視状態となりますのでスタンバイ時間内に車に乗り込み、エンジンキーをACCにしてください。エンジンキーがACCまたはＯＮの状態では監視状態になりません。(解除)

エンジンを始動させる

エンジンを始動するとセキュリティは解除されます。

リモコンを操作するときは

- アンテナを十分に伸ばしてください。
- アンテナに手などを触れると、通信距離が短くなります。
- アンテナを収納していると、アンテナユニットからの信号を受信できません。



信号を受信できないと

アンテナユニットからの信号を受信できないと受信マークが赤色に約1秒間点滅し、『ピー』と鳴ります。
もう一度、最初からリモコン操作を行ってください。

メモ

- エンジンが始動するとハザードランプが3回点滅して、エンジンが始動したことをお知らせします。
- 車のバッテリーの性能が低下しているときは、エンジンキーで始動させる場合に比べ、本機でのエンジン始動ができにくくなります。

エンジンが始動できないと

リモコンから『ピーピピピッ』の音が鳴り、リモコンのエンジンマークが赤色に約1秒間点滅します。このようなときはもう一度、最初からリモコン操作を行ってください。
※エンジン始動エラーが発生すると、アンテナユニットから発生原因に対応したエラー音が鳴ります。

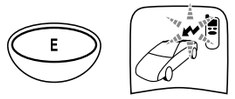
エンジンが始動しない、始動してもすぐに停止してしまう場合は、「エラー音について」(36ページ)をご覧になり原因の解決を行ってください。

⚠警 告

車輌の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用してください。リモコンの電波は、周辺環境など、条件の良いところでは遠方(3km以上)まで届くことがあります。

リモコンの操作

1 E(エンジン)ボタンを押す



送信マークが緑色に点滅します。

2 送信マークが点滅中(約2秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまでSTART/LOCKボタンを押す

送信マークが緑色に約1秒間点灯します。

アンテナユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。

威嚇機能をONに設定していると、アンテナユニットのモニターLEDが点滅から点灯(2秒間)に変わります。

アンテナユニットからの信号を受信すると

『ソファミレド』と鳴り、受信マークが約1秒間緑色に点灯します。

※電波状態によって送受信がすぐに行われる場合があります。その場合、『ドレミファソ』、『ソファミレド』が連続して聞こえることがあります。

約1秒後にエンジンの始動を行います。

エンジンが始動すると

20秒以内に始動確認の信号をリモコンに送ります。

アンテナユニットからの信号を受信すると

『ドレミファソファミレド』と鳴り、エンジンマークが緑色に約1秒間点灯します。

アンテナユニットからの始動確認信号を受信できないと、『ピー』の音が鳴り、受信マークが赤色に約1秒間点滅します。このようなときは「エンジンの状態を確認する」(22ページ参照)で始動・停止をご確認ください。

エンジンが始動すると、アイドリング中は『ピッピッピッ』とアンテナユニットから連続して鳴り、エンジンスターターでエンジンを始動していることをお知らせします。

エンジンを停止させる

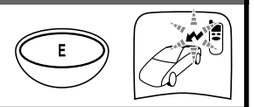
エンジン停止後、スタンバイ時間(60秒またはオート)を経過すると、セキュリティが設定されます。

信号を受信できないと

アンテナユニットからの信号を受信できないと受信マークが赤色に約1秒間点滅し、『ピー』と鳴ります。
もう一度、最初からリモコン操作を行ってください。

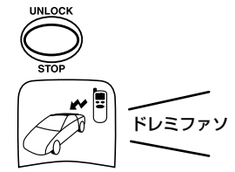
リモコンの操作

1 E(エンジン)ボタンを押す



送信マークが緑色に点滅します。

2 送信マークが点滅中(約2秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまでSTOP/UNLOCKボタンを押す



送信マークが緑色に約1秒間点灯します。

アンテナユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。

威嚇機能をONに設定していると、アンテナユニットのモニターLEDが点滅から点灯(2秒間)に変わります。

アンテナユニットからの信号を受信すると

『ソファミレド』と鳴り、受信マークが約1秒間緑色に点灯後、エンジンマークが赤色で1秒間点滅します。

エンジンを停止させます。

エンジンの状態を確認する

信号を受信できないと

アンテナユニットからの信号を受信できないと受信マークが赤色に約1秒間点滅し、『ピー』と鳴ります。
もう一度、最初からリモコン操作を行ってください。

エンジンが停止中は

受信マークが緑色に約1秒間点灯して『ピーピピピッ』と鳴り、エンジンマークが約2秒間赤色に点灯します。

※キーでエンジンを始動している場合は確認できません。

リモコンの操作

1 E(エンジン)ボタンを押す

送信マークが緑色に点滅します。

2 送信マークが点滅中(約2秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまでもう1度E(エンジン)ボタンを押す

送信マークが緑色に約1秒間点灯します。

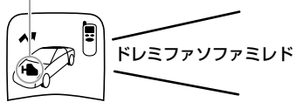
アンテナユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。

威嚇機能をONに設定していると、アンテナユニットのモニターLEDが点滅から点灯(2秒間)に変わります。

アンテナユニットからの信号を受信すると

エンジンがアイドリング中は『ドレミファソファミレド』と鳴り、受信マークが緑色に約1秒間点灯してエンジンマークが約2秒間緑色に点灯します。

●エンジンマーク
緑色に点灯：アイドリング中
赤色に点灯：エンジン停止中



セキュリティの一時解除(キーレス機能を使う)

次ページに続く

※セキュリティは、ロック操作、アンロック操作のどちらの操作においても、一時解除となります。
※本機リモコンでドアロック/アンロックを行うためには別売キーレスエントリー A-17SFの接続が必要です。別売のキーレスエントリーの接続がない場合は、ドアロック/アンロック操作によるセキュリティの一時解除のみの動作となります。

信号を受信できないと

アンテナユニットからの信号を受信できないと受信マークが赤色に約1秒間点滅し、『ピー』と鳴ります。
もう一度、最初からリモコン操作を行ってください。

メモ

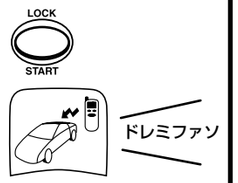
また、ドア検出線(別売：A-60)を接続して、ドアが開いている状態でドアロック操作を行うと、受信マークが赤色に約1秒間点滅し、『ピー』と鳴ります。ドアが完全に閉まっているか確認してください。

ドアのロック(施錠)操作

1 START/LOCKボタンを押す

送信マークが緑色に点滅します。

2 送信マークが点滅中(約2秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまでもう1度START/LOCKボタンを押す



送信マークが緑色に約1秒間点灯します。

アンテナユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。

威嚇機能をONに設定していると、アンテナユニットのモニターLEDが点滅から点灯(2秒間)に変わります。

アンテナユニットからの信号を受信すると

受信マークが緑色に約1秒間点灯し、『ソファミレド』と鳴り、ドアロック/アンロックマークが緑色に約1秒間点灯します。

施錠と同時にハザードランプを1回点滅して、ドアの施錠をお知らせします。

ドアがロック(施錠)され、セキュリティが一時的に解除となります。

セキュリティの一時解除（キーレス機能を使う）

信号を受信できないと

アンテナユニットからの信号を受信できないと受信マークが赤色に約1秒間点滅し、『ピー』と鳴ります。
もう一度、最初からリモコン操作を行ってください。

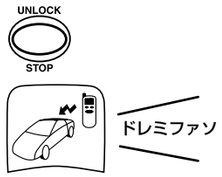
ドアのアンロック（解錠）操作

1 STOP/UNLOCKボタンを押す

送信マークが緑色に点滅します。

2 送信マークが点滅中（約2秒間）に、『ドレミファソ』が鳴るまでもう1度STOP/UNLOCKボタンを押す

送信マークが緑色に約1秒間点灯します。



アンテナユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。

威嚇機能をONに設定していると、アンテナユニットのモニターLEDが点滅から点灯（2秒間）に変わります。

アンテナユニットからの信号を受信すると

受信マークが緑色に約1秒間点灯し、『ソファミレド』と鳴り、ドアロック/アンロックマークが赤色に約1秒間点灯します。

ドアがアンロック（解錠）されセキュリティが一時的に解除となります。

メモ

- 本機でエンジンを始動した場合や、本機のターボタイマー機能によりアイドリングしている間でもドアロック/アンロックの操作はできますが、キーでエンジンを始動したときは、ドアロック/アンロック機能は働きません。
- 本機でエンジンの始動を行った場合、始動確認信号の受信まではドアロック/アンロック機能が正常に働かないことがあります。

⚠注 意

- 車のバッテリー上がり、本機リモコンの電池切れ、または故障などの場合、リモコンでドアを開けることができなくなります。エンジンキーは必ず携帯してください。
- 本機のリモコンは、ダブルアクション操作により誤作動を防止していますが、純正キーレスエントリーシステムに比べ電波到達距離が長いので、リモコン操作には十分に注意してください。
- 本機は、オートリロック機能※を搭載していませんので、リモコンでドアロックした場合は、ドアのロック状態の確認をお願いします。
  ※ドアアンロック後、ドアを開けない場合、自動的にドアロック（リロック）する機能

車に乗車する

本機でエンジン始動した状態では、走行できません。走行するときは、いったんエンジンを停止させた後、必ずキー操作でエンジン始動してください。

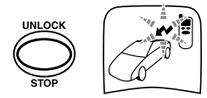
エンジン始動中はセキュリティが解除されていますが、エンジン停止中に乗車する際は、本機リモコンのアンロック操作を行ってからスタンバイ時間中（60秒またはオート）に乗車してください。

エンジン停止後、セキュリティがスタンバイ時間（60秒またはオート）中にエンジンキーをACCすると、セキュリティが解除されます。スタンバイ時間を経過してから、ドアを開けたり、車内で動くとセキュリティが感知して警報します。

ドアのアンロック（解錠）操作

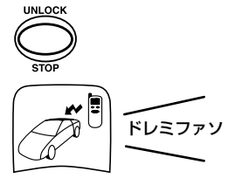
1 STOP/UNLOCKボタンを押す

送信マークが緑色に点滅します。



2 送信マークが点滅中（約2秒間）に、『ドレミファソ』が鳴るまでもう1度STOP/UNLOCKボタンを押す

送信マークが緑色に約1秒間点灯します。



アンテナユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。

威嚇機能をONに設定していると、アンテナユニットのモニターLEDが点滅から点灯（2秒間）に変わります。

アンテナユニットからの信号を受信すると

受信マークが緑色に約1秒間点灯し、『ソファミレド』と鳴り、ドアロック/アンロックマークが赤色に約1秒間点灯します。

解錠と同時にハザードランプを1回点滅して、ドアの解錠をお知らせします。

ドアがアンロック（解錠）されセキュリティが一時的に解除されます。

車を発車させる

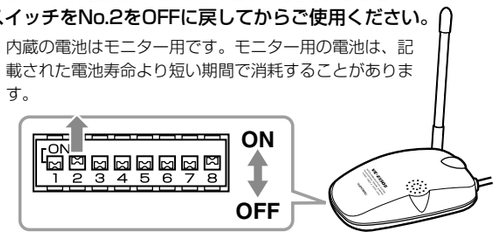
1 リモコン操作でエンジンを停止させる

※別売ドア検出線を取り付けている場合は、運転席ドアを開けると、エンジンが停止します。

リモコンの電池を交換する(入れかた)

電池交換中のエンジン始動を防ぐため、車に取り付けられているアンテナユニットのディップスイッチNo.2をON(アイドリング時間設定)にしてください。使用するときはディップスイッチをNo.2をOFFに戻してからご使用ください。

※ 内蔵の電池はモニター用です。モニター用の電池は、記載された電池寿命より短い期間で消耗することがあります。



電池の交換時期について

リモコン操作できる距離が短くなったら、電池寿命です。早めに新しい電池と交換してください。

電池寿命の目安

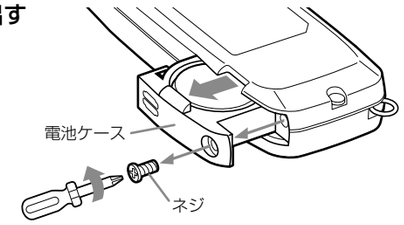
約1年を目安に新しい電池
(CR2032　2個)と交換してください。

※ 電池の寿命は使用する条件によって異なります。
※ 指定の電池(CR2032)以外は使用しないでください。
※ 交換するときは、必ず2つとも新しい電池と取り替えてください。
また、交換時には電池の向きを間違えないようご注意ください。

⚠警 告

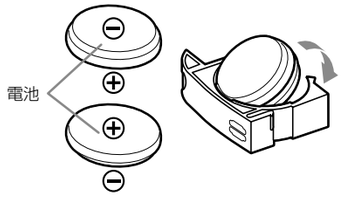
使用済みの電池は、火中に投げ入れないでください。爆発して、火災・やけどの原因となることがあります。また、事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

1 リモコン側面のネジをはずし、電池ケースを引き出す



※ネジ、部品の紛失に注意してください。また、ネジの大きさに合ったドライバーを使用してください。ネジのつぶれの原因となります。

2 電池の⊕側どうしを合わせて電池ホルダーにセットする



※電池ケースのネジ以外は触れないでください。
本機を分解したり改造することは、電波法で禁止されています。

3 電池ケースを戻し、ネジを閉める

セル時間の設定

※設定には専門知識が必要です。不必要な設定は車輌の破損につながりますので、十分ご注意ください。

車に合わせて、リモコンでセルモータの始動時間を0.5秒、0.7秒、1.0秒、1.5秒、2.0秒、3.0秒、5.0秒(7段階)の設定ができます。セルモータのひきずりがある場合にはセル時間を短めに、エンジンが始動しにくい場合は長めに設定してください。設定には十分ご注意ください。(工場出荷時には1.0秒に設定されています)

※設定を行う場合は、エンジンキーをOFFにしてセキュリティユニット接続コードを抜いた後、スタンバイ時間中にセキュリティユニットのSETボタンを2回押して、セキュリティを解除してから設定操作を行ってください。セキュリティユニット接続コードが接続された状態で設定操作を行うと、警報を発する場合があります。

※オルタネータ線(白線)を接続している場合、セル時間内にエンジンの始動検出ができると、セルモータを停止します。

セル時間を延長する / セル時間を短縮する

1 アンテナユニットの裏のディップスイッチNo.1をON、No.2をOFFにする

『ピー』と鳴り、アンテナユニットのモニターLEDが点滅して、設定モードに入ったことをお知らせします。

2 リモコンのSTART/LOCKボタンを押し、送信マークが点滅中に再度START/LOCKボタンを押す

※設定中はリモコンの表示や音階ブザーがドアロック操作と同じように動作しますが、ドアのロックはされません。

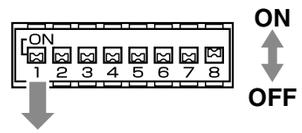
一段階セル時間の設定が延長され、設定時間に応じたブザー音が鳴ります。
さらに延長する場合は上記操作を繰り返してください。

2 リモコンのSTOP/UNLOCKボタンを押し、送信マークが点滅中に再度STOP/UNLOCKボタンを押す

※設定中はリモコンの表示や音階ブザーがドアアンロック操作と同じように動作しますが、ドアのアンロックはされません。

一段階セル時間の設定が短縮され、設定時間に応じたブザー音が鳴ります。
さらに短縮する場合は上記操作を繰り返してください。

3 アンテナユニットの裏のディップスイッチを元に戻す(No.1、No.2をOFF)



『ビビッ』と鳴り、セル時間設定を終了します。

■セル時間とブザー音

0.5秒	ピッ
0.7秒	ピピッ
1.0秒	ピピピッ
1.5秒	ピピピピッ
2.0秒	ピー
3.0秒	ピーピッ
5.0秒	ピーピピッ

アイドリング時間の設定

エンジンスターターで始動した場合のアイドリング時間（10分～30分の間で、5分単位）をリモコンで設定できます。（工場出荷時には10分に設定されています）

※設定を行う場合は、エンジンキーをOFFにしてセキュリティユニット接続コードを抜いた後、スタンバイ時間中にセキュリティユニットのSETボタンを2回押して、セキュリティを解除してから設定操作を行ってください。セキュリティユニット接続コードが接続された状態で設定操作を行うと、警報を発する場合があります。

アイドリング時間を延長する

1 アンテナユニットの裏のディップスイッチNo.1をOFF、No.2をONにする

『ビービー』と鳴り、アンテナユニットのモニターLEDが点滅して、設定モードに入ったことをお知らせします。

2 リモコンのSTART/LOCKボタンを押し、送信マークが点滅中に再度START/LOCKボタンを押す

※設定中はリモコンの表示や音階ブザーがドアロック操作と同じように動作しますが、ドアのロックはされません。

一段階アイドリング時間の設定が延長され、設定時間に応じたブザー音が鳴ります。
さらに延長する場合は上記操作を繰り返してください。

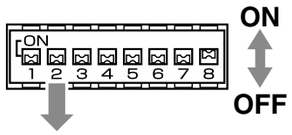
アイドリング時間を短縮する

2 リモコンのSTOP/UNLOCKボタンを押し、送信マークが点滅中に再度STOP/UNLOCKボタンを押す

※設定中はリモコンの表示や音階ブザーがドアアンロック操作と同じように動作しますが、ドアのアンロックはされません。

一段階アイドリング時間の設定が短縮され、設定時間に応じたブザー音が鳴ります。
さらに短縮する場合は上記操作を繰り返してください。

3 アンテナユニットの裏のディップスイッチを元に戻す（No.1、No.2をOFF）



『ビビッ　ビビッ』と鳴り、アイドリング時間設定を終了します。

■アイドリング時間とブザー音

10分	ピッ
15分	ピピッ
20分	ピピピッ
25分	ピピピピッ
30分	ピー

グロー時間の設定

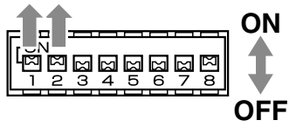
車に合わせて、グロー時間を2.0秒、3.0秒、5.0秒、7.0秒、10.0秒(5段階)の設定ができます。（工場出荷時には5.0秒に設定されています）

※グロー時間を7.0秒、10.0秒選択時はオルタネータ線の接続が必要です。

※設定を行う場合は、エンジンキーをOFFにしてセキュリティユニット接続コードを抜いた後、スタンバイ時間中にセキュリティユニットのSETボタンを2回押して、セキュリティを解除してから設定操作を行ってください。セキュリティユニット接続コードが接続された状態で設定操作を行うと、警報を発する場合があります。

グロー時間を延長する

1 アンテナユニットの裏のディップスイッチNo.1、No.2をONにする



『ビービービー』と鳴り、アンテナユニットのモニターLEDが点滅して、設定モードに入ったことをお知らせします。

2 リモコンのSTART/LOCKボタンを押し、送信マークが点滅中に再度START/LOCKボタンを押す

※設定中はリモコンの表示や音階ブザーがドアロック操作と同じように動作しますが、ドアのロックはされません。

一段階グロー時間の設定が延長され、設定時間に応じたブザー音が鳴ります。
さらに延長する場合は上記操作を繰り返してください。

グロー時間を短縮する

2 リモコンのSTOP/UNLOCKボタンを押し、送信マークが点滅中に再度STOP/UNLOCKボタンを押す

※設定中はリモコンの表示や音階ブザーがドアアンロック操作と同じように動作しますが、ドアのアンロックはされません。

一段階グロー時間の設定が短縮され、設定時間に応じたブザー音が鳴ります。
さらに短縮する場合は上記操作を繰り返してください。

3 アンテナユニットの裏のディップスイッチを元に戻す（No.1、No.2をOFF）

『ビビッ　ビビッ　ビビッ』と鳴り、グロー時間設定を終了します。

■グロー時間とブザー音

※グロー時間を7.0秒、10.0秒選択時はオルタネータ線の接続が必要です。

2.0秒	ピッ
3.0秒	ピピッ
5.0秒	ピピピッ
7.0秒	ピピピピッ
10.0秒	ピー

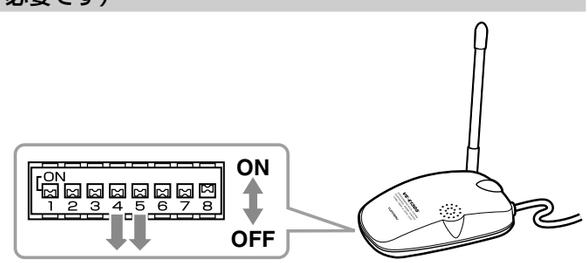
エンジンスターターの設定

エンジン始動判定の設定（設定には専門知識が必要です）

一部特殊な車輌においてエンジン始動判定（ディップスイッチNo.4、5）の設定が必要となる場合がありますが、通常は設定の必要はありません。

※工場出荷時は、No.4 OFF側　No.5 OFF側に設定されています。

※指定車以外で本設定を工場出荷時の設定以外に設定しないでください。
指定車以外で本設定を使用すると車輌故障につながる恐れがあります。
指定車について詳しくは、最寄の弊社サービス窓口またはエンジンスターター相談窓口(0564-45-6515)までお問い合わせください。



バッテリー交換や本機の付け替え時の再設定について

車のバッテリー交換や本機の付け替えなどで、バッテリーや車種別専用ハーネスを取りはずした場合は、再度、P・ポジション自動検出機能の確認が必要です。
アンテナユニットから『ピピピッ ピピピッ ピピピッ』という確認音が連続している場合は、以下の手順でP・ポジション自動検出機能の確認を行ってください。（P・ポジション自動検出機能の確認をしないと、本機は動作しません）

ご注意

エンジンスターターの設定(27～29ページ)内容を記憶しているため取り付け車を変更した場合は再設定が必要です。

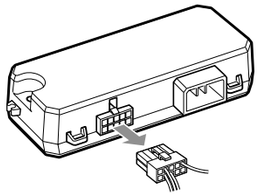
パーキング(P)・ポジション自動検出機能の確認

接続が終わっても、ジャンクションユニットを完全に固定する前に、バッテリーのマイナス端子をつないで、それぞれの接続が正しく行われていることを確認してください。

本機はP・ポジション自動検出機能の確認をしないと、動作しません。
一部の車輌では、P・ポジション自動検出できないものや、できにくいものがあります。

ご注意

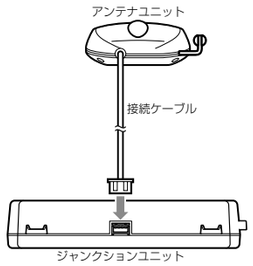
パーキング(P)・ポジション自動検出機能の確認作業は、必ず、センサーハーネスを外した状態で行ってください。（ブレーキ検出線が接続された状態では、正しく検出できません）



1 アンテナユニットの接続ケーブルをジャンクションユニットに接続する

約3秒後に接続の確認を開始します。確認が終了すると『ピピピッ ピピピッ ピピピッ』という確認音が連続して鳴ります。

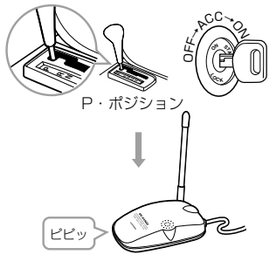
※確認音が鳴らない場合は、専用ハーネスのアース線の接続場所を、確認音が鳴る場所に変更してください。



P・ポジション自動検出ができない場合は31ページをご覧ください。

2 シフトレバーがパーキング(P)・ポジションになっていることを確認し、キーを差し込んで、OFF→ACC→ONと切り換える

アンテナユニットから約3秒後に『ピピッ』という音が鳴ります。

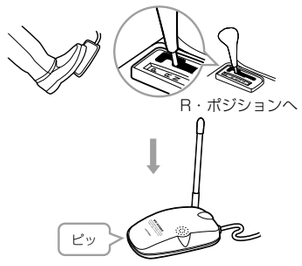


3 ブレーキを踏んでシフトレバーをパーキング(P)・ポジションからリバース(R)・ポジションに切り換える

アンテナユニットンユニットが約3秒後に『ピッ』と鳴ります。

P・ポジション自動検出機能を使用できることが確認できました。

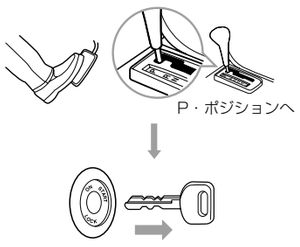
※何も音がしない場合は、P・ポジション自動検出機能は使用できません。
シフトレバーをP・ポジションに戻し、キーを抜いて31ページをお読みください。



4 シフトレバーをパーキング(P)・ポジションに戻し、キーを抜く

アンテナユニットユニットが約2秒後に『ピー』と鳴ります。

※何も音がしない場合は、専用ハーネスの種類とアース線の接続場所を、再度確認してください。



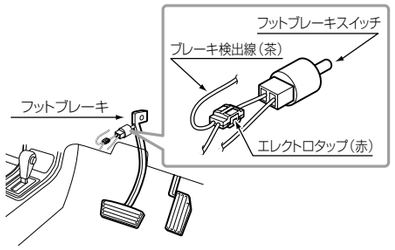
以上で初期設定は終了です。センサーハーネスを接続して必要に応じてエンジンスターター設定を行ってください。

P・ポジション自動検出機能が使用できない状態でターボタイマー機能を使用しない場合の接続・設定

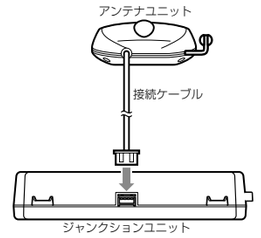
フットブレーキスイッチ配線にブレーキ検出線(茶)を接続します

ブレーキペダルを踏んで12V、離して0Vまたはブレーキペダルを踏んで0V、離して12Vに電圧が変化することを確認してください

※接続先は、サーキットテスターで確認してください。



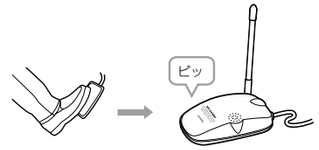
1 センサーハーネスを接続し、アンテナユニットの接続ケーブルをジャンクションユニットに接続する



2 シフトレバーがP・ポジションになっていることを確認し、ブレーキペダルは踏まずにキーを差し込んで、OFF→ACC→ONと切り換える

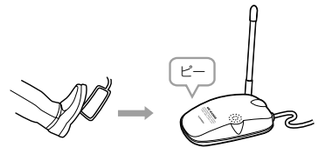
3 ブレーキペダルを踏む

アンテナユニットが『ピッ』と鳴ります。



4 ブレーキペダルから足を離す

アンテナユニットが『ピー』と鳴ります。



以上でP・ポジション検出は終了です。途中で確認音が鳴らない場合は車種別専用ハーネス、アース線の接続を確認してください。

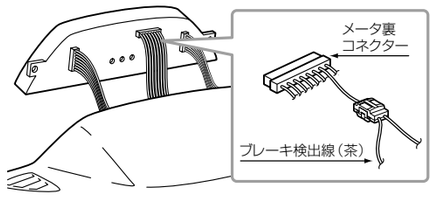
以上で初期設定は終了です。必要に応じてエンジンスターター設定を行ってください。

P・ポジション自動検出機能が使用できない状態でターボタイマー機能を使用する場合の接続・設定

P・ポジションインジケーターランプの配線にブレーキ検出線(茶)を接続します

シフトをパーキング(P)の位置にしたとき12V、パーキング(P)以外で0Vまたはシフトをパーキング(P)の位置にしたとき0V、パーキング(P)以外で12Vに電圧が変化することを確認してください。

※接続先は、サーキットテスターで確認してください。



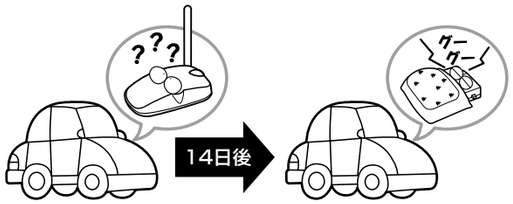
ジャンクションユニットのコネクター2にセンサーハーネスを接続し、「P・ポジション自動検出機能の確認」(30ページ)に戻ってP・ポジション検出を行ってください。

メモ

接続場所について詳しくは、弊社FAX情報サービスでご確認ください。

スリープ機能について

車を使用しない状態が14日間以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能が働きます。
スリープ機能が働くと、本機によるエンジン始動はできません。
スリープ機能を解除するときは、1度キーを使ってエンジンを始動させてください。
※セキュリティユニットの連続監視時間は最大約1週間です。



本機を長期間使用しないときは、アンテナユニットの接続ケーブルをジャンクションユニットから外しておきます。

バッテリーについて

車のバッテリーの性能が低下しているときは、キーで始動させる場合に比べ、リモコンでのエンジン始動ができにくくなります。このようなときはバッテリーを充電するか、新しいものと交換してください。

メモ

- 寒冷地では、オルタネータ線を接続し、バッテリーも大型のものに交換することをおすすめします。
- 車のバッテリー交換を行った場合は再度P・ポジション自動検出機能の確認(30ページ)必要です。

安全機能について

本機には、次の安全機能があります。

■ P・ポジション自動検出

シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)ポジション以外のときは、エンジンの始動やターボタイマー機能の動作はできません。また、リモコンによる始動後、キーを差し込んだ状態で(ONポジションにキーを回さないまま)シフトチェンジすると、エンジンが停止します。

※一部の車輌では、P・ポジション自動検出のできないものや、できにくいものがあります。このような場合には、フットブレーキまたはP・ポジションインジケーターランプへの接続が必要です。接続しないと、本機は動作しません。
フットブレーキに接続した場合は、フットブレーキを踏むとエンジンが停止します。またP・ポジションインジケーターランプに接続した場合には、シフトレバーがパーキング(P)の位置以外ではエンジンを始動できません。

■コンライトキャンセル機能
(別売のA-60を使用してコンライト信号線に接続した場合のみ)

オートライト機能搭載車でオートライト設定中でも、アイドリング終了後にライトを消灯させ、バッテリー上がりを防ぐことができます。

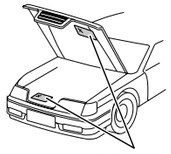
※一部の車輌において、コンライトキャンセル機能が正常に働かない場合があります。

■ドア検出
(別売のA-60使用してドアスイッチに接続した場合のみ)

エンジンスターター動作中ドアを開くとエンジンが停止します。(アフターアイドリング中は機能しません)
また、ドアが開いた状態でドアロック操作をした場合、リモコンの受信マークが赤く点滅し、『ピー』と鳴り、ドアが開いていることをお知らせします。

⚠警 告

- 整備や車検などで、エンジン部を作業中に、突然エンジンが始動すると大変危険です。万一の事故を防ぐためにも、第三者に車を預けるときは、リモコンの電池を抜いておく、もしくはアンテナユニットの接続ケーブルをジャンクションユニットから外してください。
- 本機の取り付け後、安全のため、付属のステッカーを貼り付ける必要があります。「ご注意ステッカー(大)」は、エンジンルームを開けたときに、第三者にもわかるような目立つ場所に、「ご注意ステッカー(小)」はボンネットオープナーやその付近の目立つ場所に貼り付けられていることを確認してください。


ご注意ステッカー (大)

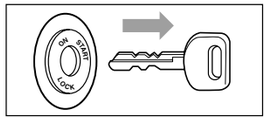
ご注意ステッカー (小)

リモコンの追加

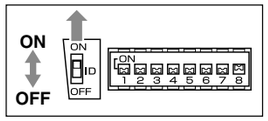
スペアリモコンとしてVE-E130Rの追加リモコンがご使用になれます。
追加リモコン：A-109Eを追加する場合は、右記の手順で登録を行ってください。

※リモコンを追加する場合、付属のリモコンのIDも書き込む必要があります。
※付属のリモコンが故障または紛失した場合は、手順***1***～***5***までの登録を行ってください。

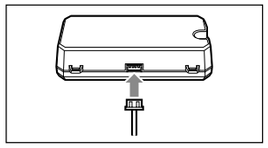
1 **エンジンキーを抜き、車を駐車した状態にする**



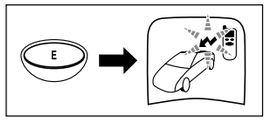
2 **アンテナユニットのスライドスイッチをON(ID書き込み)にする**



3 **アンテナユニットの接続ケーブルをジャンクションユニットに接続する。すでに接続ケーブルが接続されている場合は、一度接続ケーブルを外し、つなぎ直す**



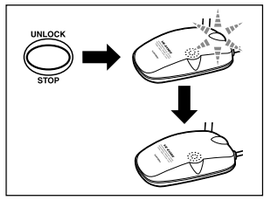
4 **付属のリモコンのE(エンジン)ボタンを押す**



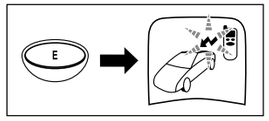
5 **送信マークが点滅している間(2秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまで付属のリモコンのSTOP/UNLOCKボタンを押す**

リモコンからの信号を受信すると、アンテナユニットが「ピッ」と鳴り、アンテナユニットのモニターLEDが点滅します。
IDの登録が正常に行われると、アンテナユニットが3秒以内に「ピー」と鳴り、モニターLEDが消灯します。

※「ピー」と音がしない場合は項目***4***の操作からやり直してください。



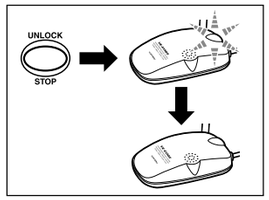
6 **追加リモコンのE(エンジン)ボタンを押す**



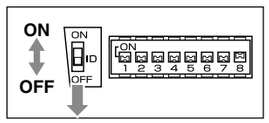
7 **送信マークが点滅している間(2秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまで追加リモコンのSTOP/UNLOCKボタンを押す**

リモコンからの信号を受信すると、アンテナユニットから「ピピッ」と鳴り、アンテナユニットのモニターLEDが点滅します。
IDの登録が正常に行われると、アンテナユニットが3秒以内に「ピッピー」と鳴り、モニターLEDが消灯します。

※「ピッピー」と音がしない場合は項目***6***の操作からやり直してください。



8 **アンテナユニットのスライドスイッチをOFF(通常)にする**



こんなときは

エンジン始動関係

Q

リモコン操作でエンジンの始動や停止ができない。（送信マークが点灯する場合）

A

リモコンでのエンジンスタートができない場合は、以下の事項についてご確認ください。

受信マークが点灯しない
- キーでエンジンを始動していませんか？
- 電池が消耗していませんか？
- アンテナユニットの接続ケーブルが外れていませんか？接続の確認をしてください。
- スリープ機能が働いていませんか？（32ページ参照）
- 車と離れすぎていませんか？
- パーキング（P）・ポジション自動検出ができていますか？（30ページ参照）
- それぞれのコネクターがジャンクションユニットにしっかり接続されていますか？

受信マークは点灯する
- シフトレバーがパーキング（P）になっていますか？
- 車のバッテリーが弱っていませんか？
- キー操作でエンジンが始動しますか？
- アンテナユニットが正しく設定されていますか？（9ページの工場出荷時の設定参照）
- それぞれのコネクターがジャンクションユニットにしっかり接続されていますか？

Q

気候が寒くなってきたら、エンジンがかからなくなった。

A

気温が低いと、エンジン自体のかかりが悪いため、セル時間を少しながめに設定してみましょう。（27ページ参照）

Q

エンジンはかかるがすぐ停止してしまう。

A

エンジンの始動検出ができていないためです。
オルタネータ線を接続してください。

Q

アンテナユニットを操作していたら、エンジンがかからなくなってしまった。

A

エンジンスターターの設定が変更されてしまった可能性があります。取り付け販売店にご相談ください。（27～29 ページ参照）

リモコン操作関係

Q

リモコンのボタンを押しても、送信マークが点滅しない。

A

電池が消耗していませんか？
電池が正しく入っていますか？ 電池の装着を誤った場合は、ショート状態により電池が消耗している可能性がありますので、新しい電池をご使用ください。

Q

リモコン操作できる距離が短い。

A

- リモコンのアンテナを伸ばさずに操作を行っていませんか？
- アンテナユニットのアンテナの近くに金属（ピラー）などがあると、通信距離が短くなります。金属部より5cm以上離れた場所に取り付けてください。
- リモコンのアンテナに手を触れていませんか？
- アンテナユニット（車）とリモコンの間に、障害物がありませんか？
- チェーンやカギ、金属性アクセサリーなどにより通信エラーを発生する場合があります。

Q

受信マークが点灯しない。

A

周囲の電波状況によっては、アンテナユニットの電波がリモコンに届かない場合があります。

ドアロック機能関係

Q

ドアロック、アンロックが動作しない。
（別売キーレスエントリーA-17SFの接続をしている場合）

A

車によってはキーを使用してドアをロックした場合は、ドアをアンロック（解錠）できない場合があります。また、エンジンがかかっている状態でドアのロック、アンロックができない場合があります。

ターボタイマー機能関係

Q

ターボタイマーが働かない。

A

ターボタイマー機能はP・ポジション自動検出ができた場合、またはP・ポジションインジケーターランプにブレーキ線を接続している場合でアンテナユニットのディップスイッチNo.3をONに設定しているときに使用できます。また、ターボタイマーの機能は、シフトレバーがパーキング（P）にセットされた時点から開始されますので、シフトレバーをパーキング（P）に入れる前に車のエンジンを切ったり、パーキング（P）のままアフターアイドリング時間が経過すると、ターボタイマー機能は動作しません。

Q

アフターアイドリング時間が短い。

A

ターボタイマー機能は、シフトレバーがドライビング（D）ポジションからパーキング（P）またはニュートラル（N）ポジションに入った時点から電気的には開始されています。よって走行後、パーキングまたはニュートラルポジションからキーOFFまでの時間は、アフターアイドリング時間としてカウントされます。

セキュリティ機能関係

Q

充電しない。

A

- セキュリティユニット接続プラグが外れていませんか。
- 車のエンジンキーがACCまたはONの位置になっていますか。

Q

セキュリティが設定されない。

A

- セキュリティユニット接続プラグが外れていませんか。
- 電池の容量が低下していませんか。充電をしてください。
- 電池のコネクターがはずれていませんか。バッテリーカバーを開け、確認してください。
- エンジンキーがOFFの位置になっていますか。
- エンジンキーをOFFにしてから、監視モードに入るまでの時間が経過していますか。本機は、エンジンキーをOFF にすると約1秒後にスタンバイ時間となり、その後、一定時間（60秒またはオートから選択）経過しないと、監視動作に入りません。

Q

警告・警報しない。

A

- エンジンキーをOFFにしてから、監視モードに入るまでの時間が経過していますか。本機は、エンジンキーをOFFにすると約1秒後にスタンバイ時間となり、その後、一定時間（60秒またはオートから選択）経過しないと、監視動作に入りません。
- 電池の容量が低下していませんか。充電をしてください。
- エンジンキーがOFFの位置になっていますか。

その他

Q

付属のブレーキ検出線、オルタネータ線は接続するの？

A

ブレーキ検出線は、P・ポジション自動検出ができた車には接続する必要はありません。（P・ポジション自動検出ができた車に接続すると、誤動作する場合があります）
また、オルタネータ線は始動検出ができる場合は特に必要ありませんが、冬場など、寒い季節になると始動検出ができにくくなる車があります。

Q

車を使用する頻度が少なく、バッテリー上がりが心配。

A

14日以上、車の利用がないと、スリープ機能によってエンジンスターターの電流消費を抑えます。
スリープ機能が働くと、リモコンでの操作ができません。キーを使用してACCにすると解除されます。

エラー音について

アンテナユニットが以下のようなブザー音を発しているときには、その処置方法に従って操作してください。
その他の処置方法が明記されていないエラー音につきましては、弊社サービス窓口またはエンジンスターター相談窓口にご相談ください。

本機は取り付け作業時およびエンジンスタート機能やターボタイマー機能が動作しない場合、本機のリモコンを使ってエンジンを始動させる操作をした後や、ターボタイマー機能未動作時にアンテナユニットから鳴る音(エラー音)により、不具合を起こしている場所がわかります。
本機の動作に不具合があったときは、この「エラー音」を確認して、取り付け店または弊社ご相談窓口にお問い合わせください。

エラー音	不具合の検出
ピピピッ	STリレー接点溶着時、接点溶着を検出したときのみ 接点溶着後にリモコンよりスタート信号を受信したとき
ピー　ピー　ピッピッピッ	エンスト検出
ピー　ピー　ピー	エンジン始動異常
ピー　ピッ	エンジンスタータ動作中断時 P・ポジション検出
ピー　ピッピッ	エンジンスタータ動作中断時 ブレーキ検出
ピー　ピッピッピッピッ	エンジンスタータ動作中断時 ドア検出
ピー　ピー	エンジンスタータ動作中断時 電圧異常
ピー　ピー　ピッ	エンジンスタータ動作中断時 オルタネータ異常
ピピピッ　ピッ	ターボタイマー動作中断時 溶着検出
ピピピッ　ピッピッピッ	ドア制御中断時 ドア開検出

仕 様

■リモコン

適合技術基準	特定小電力無線局テレコントロール用無線設備
送信周波数	429.2375MHz
電波型式	F2D
送信出力	10mW
送信時間制御	送信時間：3秒以内 送信休止時間：2秒以上
使用電池	リチウム電池 CR2032×2
動作温度範囲	−10℃〜+50℃
寸法	32.5(W)×78.0(H)×18.3(D)mm (突起部含まず)
重量	37.3g(電池含む)

■アンテナユニット/ジャンクションユニット

適合技術基準	特定小電力無線局テレコントロール用無線設備
送信周波数	429.2375MHz
電波型式	F2D
送信出力	10mW
送信時間制御	送信時間：3秒以内 送信休止時間：2秒以上
電源電圧 (ジャンクションユニット)	12V車専用(DC9〜16V)
消費電流	スリープ時：約7mA 待機時：約16mA(平均)
動作温度範囲	−20℃〜+80℃
寸法	アンテナユニット ：46.4(W)×21.0(H)×75.1(D)mm (突起部およびアンテナ部含まず) ジャンクションユニット ：138(W)×28(H)×63(D)mm
重量	アンテナユニット：68.5g ジャンクションユニット：126g

■セキュリティユニット

適合技術基準	特定小電力無線局移動体検知センター用無線設備
電源電圧	DC12V(入力電圧)
使用電池	DC3.6V(ニッケル水素電池)
発振周波数/出力	24.15GHz/10mW以下(技術基準適合品)
消費電流	監視モード…0.4mA(標準)、0.5mA(最大) 警報モード…430mA(標準)、500mA(最大) 充電モード…急速充電 400mA、初期充電 80mA、
警報音圧	110dB/15cm(サイレン) 70dB/15cm以上(ボイスアラーム)
動作温度範囲	−20℃〜+70℃
寸法	80(W)×33(H)×101.5(D)mm(突起部を除く)
重量	134g(ニッケル水素電池、 サンバイザークリップを含む)

■セキュリティアダプター

電源電圧	DC12V車専用
寸法	52.4(W)×13(H)×38.4(D)mm(突起部を除く)
重量	225g

※ 仕様や外観などは、改良のため予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

■保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ、保証内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

■保証期間

お買い上げの日から3年間です。

●対象部分

車載ユニット(リモコン、セキュリティユニット　は1年、電池等消耗部品を除く)が対象となります。

■修理を依頼されるとき

「こんなときは」の点検をしていただいても、なお異常のあるときは、故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

●保証期間中のとき

恐れ入りますが、お買い上げの販売店に、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定に従って修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき

取り付け販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

■アフターサービスなどについてご不明な点は

お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部(下記の一覧表をご参照願います)にお問い合わせください。

■リモコンを紛失や破損したとき

リモコンを紛失や破損したときは、追加リモコンをお買い求めください。

「取付・接続説明書」や本書にしたがった、正常な取り付け・接続、使用状態で製品に故障が生じた場合は、製品の保証書にしたがって修理いたします。
また、本機取り付けによる車輌や車載品の故障、事故などの付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ユピテルご相談窓口一覧

ご相談の受付時間は、月曜日～金曜日９：00～17：30です。ただし土曜日、日曜日、祝祭日、振替休日および年末・年始等は受け付けいたしておりません。お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

お客様ご相談センター　　TEL. (0564)45-6515

地　区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部　TEL. (011)618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北八条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部　TEL. (022)284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・長野・新潟・静岡(西部の一部地区を除く)	東京営業所・サービス部　TEL. (03)3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・福井・静岡(西部の一部地区)	名古屋営業所・サービス部　TEL. (052)461-1281 〒453-0053 愛知県名古屋市中村区中村町6-5
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部　TEL. (06)6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部　TEL. (082)230-1711 〒733-0001 広島県広島市西区大芝2-9-2
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部　TEL. (092)552-5351 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原3-2-19

●上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
●電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

※お車の買い替えなどで、車種別専用ハーネスを検索する場合や追加オプションに関する最新情報は、弊社ホームページまたは車種別専用ハーネス適応表でお確かめください。

- **弊社HPアドレス**　http://www.yupiteru.co.jp/
- **i-mode専用サイト**　http://www.yupiteru.co.jp/i/

＜無料修理規定＞

1. 表面記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体および本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ)使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
   (ロ)お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
   (ニ)特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
   (ホ)故障の原因が本製品以外にある場合
   (ヘ)本書のご提示がない場合
   (ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   (チ)付属品や消耗品等の消耗による交換
   (リ)お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

故障内容記入欄

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。
※弊社営業所・サービス部は本書38ページをご覧ください。

保 証 書
（持込修理）

本書は、本書記載内容（裏面記載）で、無料修理を行うことを、お約束するものです。
保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

無効

品　番		VE-E130S（テレコントロールエンジンスターター+カーセキュリティ）
S/No.		
お買い上げ日		年　月　日
保 証 期 間		お買い上げの日より3年（対象部分：車載ユニット(リモコン、セキュリティユニットは1年。消耗部品は除く)
お客様	お名前	様
	ご住所	〒 TEL.(　　　)
販売店	店名・住所	上欄に記入または捺印の無い場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

ユピテル工業株式会社
〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33